
◆「繊維産業サステナビリティに関する検討会」報告書が公表されました

経済産業省は今月12日、今年2月に設置した「繊維産業のサステナビリティに関する検討会」において報告書を策定・公表しました。

(詳細) https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/textile_industry/20210712_report.html

.....

◆新型コロナウイルス対策関連について

経済産業省や厚生労働省等による新型コロナウイルス関連支援策等が以下のHPに掲載されております。

■新型コロナウイルス感染症関連（経済産業省の支援策）

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

■新型コロナウイルス感染症について（厚労省HP）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

■新型コロナウイルス感染症への対応（外務省）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/p_pd/pds/page25_002019.html

■新型コロナウイルス感染症について（外国人技能実習機構）

<https://www.otit.go.jp/CoV2/>

◆ 日本の繊維産業の現況について

7月8日開催の日本繊維産業連盟常任委員会におきまして、日本の繊維産業の現況について以下のとおり報告がありました。

景況全般について

- ・ 繊維工業全体の生産指数の上げ下げは概ね鉱工業全体の生産指数と同傾向であり、緊急事態宣言発出により確実に下がっている。但し繊維工業の指数は鉱工業全体よりは低めである。繊維工業のボトムは’20年8月で9月以降は徐々に回復している。
- ・ 主要繊維の生産量について
ナイロン長繊維原糸が’20年9月に極端に下がっている。
ウール糸の回復が今年に入っても遅れている。
ウール織物については’20年7月から下げ始め、その後も低迷している。
ニット製靴下が’20年4月から下がり始め回復の兆しが見られない。
- ・ 家計調査消費支出（2人以上の世帯、被服及び履物）は’21年1-4月の累計では対前年同期比100.9%となっており、コロナ慣れが定着している感じである。
- ・ 衣料品売上高について、’21年1-5月の累計で、百貨店では対前年同期比108.5%、チェーンストアでは109.8%となっており、緊急事態宣言の規制が緩和されたことや、コロナ慣れの影響が表れている。
- ・ SPAは毎月の売上高は公表されていないが、前年同月対比増減値で見ると‘20年4月がボトムで6月以降は前年同月対比増が続いている。

- ・自動車生産台数については' 21年1-4月の累計で前年同期比106.6%となっている。生産台数のボトムは'20年5月でその後徐々に回復している。但しバス台数については下がり方が大きく、回復も遅れている。
- ・新規住宅着工戸数は' 21年1-5月の累計で109.9%となっている。
- ・原油価格（ドバイ・東京現物・FOB）は'20年3月以降、急激に下がり、4月には23.3US\$/バレルまで下がったが'20年5月以降、着実に上げ始め'21年2月には60US\$/バレル台に戻した。これに伴い繊維原料、原綿・原糸市況も上げ基調である。

2021年1-5月の繊維貿易

＜輸出＞	円ベース	3,349億円	(前年同期比 101.8%)
	ドルベース	31.2億ドル	(" 102.8%)
＜輸入＞	円ベース	15,559億円	(前年同期比 90.2%)
	ドルベース	145.2億ドル	(" 91.1%)
＜貿易収支＞	円ベース	▲27,794億円	(前年同期比 100.1%)
	ドルベース	▲259.4億ドル	(" 98.5%)

① 国別輸出（円ベース）前年同期比

中国向け103.9%、ASEAN向け99.3%と中国は微増、ASEANは微減である。

ベトナムは100.5%と微増。対前年同期比プラスとなっているのは中国103.9%、韓国106.4%、タイ120.9%、マレーシア112.8%、ベトナム100.5%、インド131.1%、フランス105.6%、イタリア128.7%、米国、113.3%、アフリカ126.1%、大洋州125.7%など。ミャンマーは前年同月比で38.8%、同期比で46.0%と依然として不調である。

【構成比】（ ）内は前年同期比

中国26.9%（+0.5%）、ASEAN 24.4%（▲0.7%）、ベトナム11.8%（▲0.2%）、米州11.8%（+1.1%）、欧州12.4%（+0.2%）

② 国別輸入（円ベース）前年同期比

中国からは82.3%に対し、ASEANからは100.4%と、'21年に入り中国がやや低迷している。前年対比で増加している主な国は、韓国104.8%、タイ101.9%、マレーシア238.1%、インド111.2%、パキスタン107.4%、バングラデシュ107.3%、西アジア128.7%、フランス105.0%、

イタリア112.7%、アフリカ127.6%などである。特にマレーシアは'21年4月単月が前年同月比323.8%であり、'20年12月単月の156.4%以降好調である。

【構成比】（ ）内は前年同期比

中国54.2% (▲5.2%)、ASEAN 29.7% (+2.9%)、ベトナム13.1% (+0.2%)

.....

◆その他中小企業関連ホームページ等について

I 税制に関する窓口及び相談機関

① 国税に関する窓口及び相談機関

国税庁及び全国12の国税局(事務所)に税務相談所が設置されており、国税に関する質問又は相談にも応じてします。質問等には決まった手続や形式はなく、口頭でも電話でも差し支えありません。

国税庁ホームページ<http://www.nta.go.jp/>

⇒各種手続き概要・届出書等の様式などが掲載されています。

② 地方税に関する窓口及び相談機関

都道府県や市町村には、その規模の大小に応じて、それぞれ税務部(課)を設け、税の相談に応じています。各自治体にお問い合わせください。

II 各種中小企業支援について

① 中小企業庁ホームページ<http://www.chusho.meti.go.jp/>

中小企業関連税制のほか、中小企業支援策について掲載されています。

② ミラサポplusホームページ<https://www.mirasapo.jp/features/policy/vol89/index.html>

ミラサポplusは、中小・小規模事業者の未来をサポートするサイトです。

③ 経済産業省ホームページ<http://www.meti.go.jp/>

経済産業省の施策全般について掲載されています。

Ⅲ その他

繊維産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画

 [繊維産業の適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画（第3版）](http://www.jtf-net.com/news/PDF/190426Jisyukodo-3rd%20edition.pdf)

<http://www.jtf-net.com/news/PDF/190426Jisyukodo-3rd%20edition.pdf>

2030年にあるべき繊維業界への提言 ～ 伝統から未来への設計図（New Design 2030）～

 [「2030年のあるべき繊維産業への提言」](http://www.jtf-net.com/news/PDF/200303_2030Teigen_Rev..pdf)

http://www.jtf-net.com/news/PDF/200303_2030Teigen_Rev..pdf